放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 2 日　　事業所名：児童デイサービス・アニマート江戸屋

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				問題ありません。これ以上、広くなれば指導員の目が行き届かなくなる恐れがあります。
	2	職員の配置数は適切である	4				基本人員に加えて加配しておりますが、新規事業に向け指導員を募集中。しかし人材不足が問題です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				問題ありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4				目標設定、実行、振り返りには『疑問』を持つ事が解決、達成など支援のヒントとなると考えております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				評価シートでわかった事などもあり、今後の課題とさせて頂きます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				毎年、ホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4				今後も継続して参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				今後も継続し、更に資質向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				利用者、保護者様だけでなく、関係機関との連携により総合的情報から計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				アニマートグループのテンプレートが御座います。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4				今後も継続し、更に資質向上に努めて参ります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				今後も継続し、更に資質向上に努めて参ります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				今後も継続して参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4				利用者によっては集団活動が苦手な場合もあり、必ずしも組み合わせるとは限りません。丁寧な計画作成を心掛けております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				支援開始前、ミーティングで予定を確認し、変更があれば随時、グループLINEで連絡を取り合い迅速な対応をしております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				その日にあった事、気づいた事は当日中に連絡を入れる様、グループLINEを活用しております。ミーティングでは細かい報告を行い全スタッフに共有しております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				今後も継続して参ります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				今後も継続して参ります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4				様々な活動を日替わりで行っております。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				利用者の情報は全スタッフが共有しており、誰が参加しても問題がありませんが児発管が役目を果たしております。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			コロナの為、連絡調整がうまくできていないが玄関で担任と話をしている。	基本は保護者様からの確認を行っておりますが、学校からの申し送りは大切な情報提供の為、今後も継続して参ります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1		3	対象となる子がいない。	医療的ケアが必要な場合は個別にフローチャートを作成し、迅速な対応ができる様、体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			4	対象となる子がいない。対象者や必要な方無し。	過去の情報が必要な場合は相談員と連携し必要に応じて情報共有に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	対象となる子がいない。	保護者の意思確認により必要に応じて情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			4	対象となる子がいない。	必要な情報は外部研修や学習を行っておりますので、今後も継続して新しい知識を得て参ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	今後、交流したい。	外部の子供との接触を望まない利用者も少なくない為、今後の課題です。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			4		今のところ必要性を感じておりませんが、コロナが収束すれば検討したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				今後も継続して参ります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	4				新型コロナの影響で集まりができない為、連絡帳や電話、LINEなどを通して、今後も継続して対応させて頂きます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				利用開始前には必ず、ご説明をさせて頂いております。今後も継続して参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				連絡帳、電話、LINEなどで個別に対応させて頂いております。緊急時には夜間でも対応しております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			今年は集まって保護者会ができなかったので、個別で面談やLINEで連携を取っている。（コロナの為）	皆さんが楽しみにして下さっている会が新型コロナの影響で開催できず、保護者様専用のグループLINEで対応させて頂いております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				これまで苦情はありませんが、発生時には迅速に対応させて頂きます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				瓦版の発行。保護者グループLINEで活動の様子などを発信しているので、今後も継続して参ります。
	35	個人情報に十分注意している	4				利用者の顔、名前など外部への情報漏洩防止策を徹底しております。今後も継続して参ります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				連絡帳、LINE、お手紙、電話などで対応を継続して参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	3	今まで必要性が無く実施していない。	新型コロナが収束すれば今後の課題です。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				職員間ではマニュアルについて研修を行っておりますが、保護者様へのマニュアルの周知はグループLINEやお知らせで周知しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				半年毎に訓練を行っております。今後も継続して参ります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			研修を行っている。	毎年、研修を継続して参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				身体拘束についてはマニュアルがあり、毎年、研修を行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				アレルギーだけでなく、苦手な物などに配慮しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				問題発生⇒必ず対策を立てる事を継続して参ります。